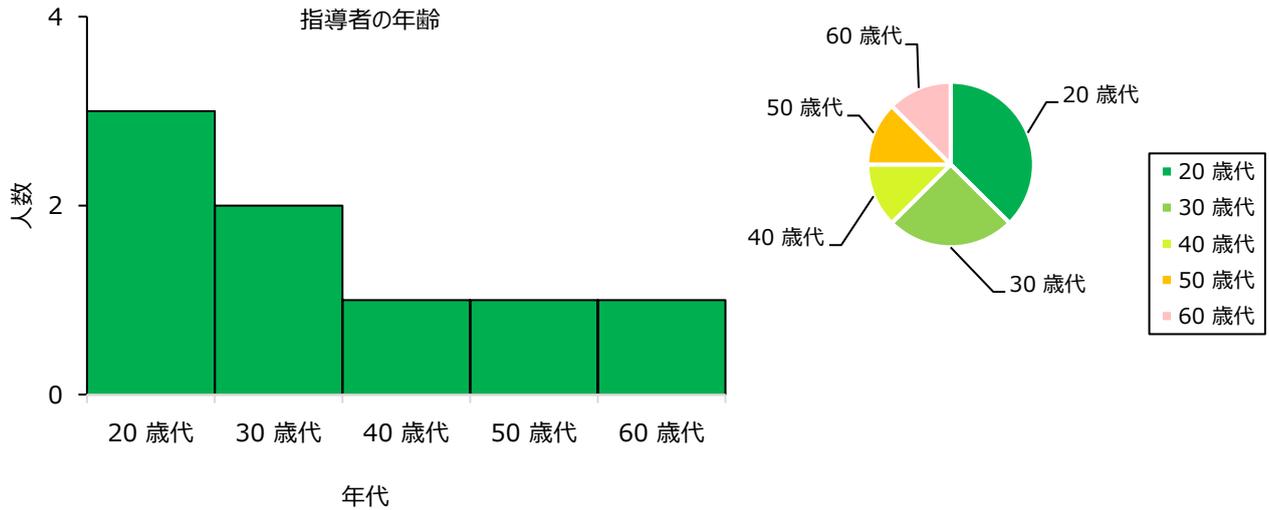


技能五輪全国大会の指導者がおこなう課題指導について A5

競技職種：構造物鉄工

指導者についてのアンケート結果

指導者の年齢



| | 20 歳代 | 30 歳代 | 40 歳代 | 50 歳代 | 60 歳代 | 欠損値 | 合計 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-----|----|
| 人数 | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 8 |

指導者としての競技大会への参加経験

・参加経験

| | 若年者ものづくり 競技大会 | 技能五輪全国大会 | 技能五輪国際大会 | 技能グランプリ大会 | その他の大会 |
|----|------------------|----------|----------|-----------|--------|
| あり | 0 | 7 | 0 | 0 | 0 |
| なし | 6 | 1 | 6 | 6 | 0 |

選手としての競技大会への出場経験

・出場経験

| | 若年者ものづくり 競技大会 | 技能五輪全国大会 | 技能五輪国際大会 | 技能グランプリ大会 | その他の大会 |
|----|------------------|----------|----------|-----------|--------|
| あり | 0 | 5 | 1 | 0 | 0 |
| なし | 6 | 3 | 5 | 6 | 0 |

指導者の保有資格

| | 人数 |
|--|----|
| 技術士（金属部門） | 1 |
| 技能検定：油圧装置調整、空気圧機器組立、機械保全、機械組立仕上、旋盤鉄工、職業訓練指導員、JIS溶接：SA-2F | 1 |
| 指導員免許、構造物鉄工1級 | 1 |
| 構造物鉄工2級、1級（実技） | 1 |
| 鉄工1級・製缶1級・指導員免許 | 1 |
| 技能検定1級、構造物鉄工、指導員免許 | 1 |
| プラント配管1級・製缶1級・構造物鉄工1級 | 1 |

課題についてのアンケート結果

(1) 事前公表された課題の指導上の難易度

・作図・各部の寸法取り（欠損値：0）

| | ふつう | やや易しい | やや難しい | 易しい | 難しい |
|----|-----|-------|-------|-----|-----|
| 人数 | 4 | 1 | 2 | 0 | 1 |

・材料取り・ケガキ（欠損値：0）

| | ふつう | やや易しい | やや難しい | 易しい | 難しい |
|----|-----|-------|-------|-----|-----|
| 人数 | 4 | 1 | 1 | 0 | 2 |

・部材加工（切断）（欠損値：0）

| | ふつう | やや易しい | やや難しい | 易しい | 難しい |
|----|-----|-------|-------|-----|-----|
| 人数 | 4 | 0 | 4 | 0 | 0 |

・部材加工（曲げ）（欠損値：0）

| | ふつう | やや易しい | やや難しい | 易しい | 難しい |
|----|-----|-------|-------|-----|-----|
| 人数 | 1 | 0 | 1 | 0 | 6 |

・組立（欠損値：0）

| | ふつう | やや易しい | やや難しい | 易しい | 難しい |
|----|-----|-------|-------|-----|-----|
| 人数 | 2 | 0 | 3 | 1 | 2 |

(2) 事前公表課題の中で指導するのが難しかった部材

・作図・各部の寸法取り（欠損値：5）

| | 人数 |
|-------------------------------|----|
| 6,7,30 | 1 |
| 図面の間違い、不適切な指示表記が多すぎてまず読図できない。 | 1 |
| ない | 1 |

・材料取り・ケガキ（欠損値：4）

| | 人数 |
|------------------|----|
| 19 | 1 |
| 6,7,30 | 1 |
| 上記の理由から、すすめられない。 | 1 |
| ない | 1 |

・部材加工（切断）（欠損値：2）

| | 人数 |
|-------------------------------------|----|
| 11 | 1 |
| 20,19,3,21 | 1 |
| 3,11 | 1 |
| 3,19 | 1 |
| t12～t4,5と板厚の違い。型鋼等もあり、限られた工具では無理がある | 1 |
| ない | 1 |

・部材加工（曲げ）（欠損値：0）

| | 人数 |
|-----------------------------------|----|
| 6 | 4 |
| 二品として強度等をまったく考慮していない曲げだと強く感じた（#⑥） | 1 |
| 6,7 | 1 |
| 6,7,21 | 1 |
| 基準がない為、教え方が困難だった。 | 1 |

・組立（欠損値：2）

| | 人数 |
|------------------|----|
| 25,26,29,30,23,6 | 1 |
| 6,30,15 | 1 |
| 6,8,30 | 1 |
| 組立は基準面が無く非常に困難 | 1 |
| 製作A | 1 |
| ない | 1 |

(3) 課題の制作についての特別な指導（欠損値：0）

| | 特別な指導はしていない | 特別な指導をした |
|----|-------------|----------|
| 人数 | 4 | 4 |

(4) 「特別な指導をした」内容

| | 人数 |
|------------------------|----|
| #⑥の曲げ加工や組立方、手順等 | 1 |
| OBに指導を依頼した。他社と交流会を行った。 | 1 |
| ケガキ要領について、ベテランの指導（加工職） | 1 |
| メンタル面 | 1 |

(5) 当日公表課題の難易度（欠損値：0）

| | ふつう | やや易しい | やや難しい | 易しい | 難しい |
|----|-----|-------|-------|-----|-----|
| 人数 | 1 | 0 | 0 | 0 | 7 |

(6) 当日公表課題とした場合の対策

| | 人数 |
|--|----|
| 課題図の解読 | 1 |
| 過去課題を検証し、予想・想定し訓練 | 1 |
| 読図訓練を行った。 | 1 |
| 様々なノウハウを覚えさせておくが、今回の課題図面やあいまいなルールでは競技にならない | 1 |
| 図面の読解 | 1 |
| 特に曲げ関係に重点を置いて、対策をする。 | 1 |
| 図面の読解力、加工の応用力、対応力 | 1 |
| 読図力の強化 各条件（ガス・曲げ他）出しのスピーディー化 | 1 |

指導の際に、心掛けたこと

| | 人数 |
|---|----|
| 選手の自主性 | 1 |
| 職場での実務と対比させ乍ら、即戦力の人材となれる様に…。 | 1 |
| 効率を高めるよう、3名の選手別々の方法をやらせてデータを取った。 | 1 |
| この間違っただけでどう教えるか。「モノづくり」として正しくない事を教えて良いものなのか、を心掛けた。毎回意見しているが、寸法公差の無い図面はどう考えてもおかしい。また測定箇所も詳細も明かされない為、何を指して作れば良いのか分からないし、これで勝敗を決められてしまっただけでは競技会として成立しないのでは？と思ってしまう。ルールのあいまいさ、ましてや当日のいきなりのルール変更等があったら、これまでの訓練をないがしろにされてしまい選手がかわいそうでならない。今のあいまいなルール、運が良い人が勝ってしまう競技では、勝つのも負けるのもたまたまでしかない。これは本当に国際大会を意識した全国大会なのか。またモノの重要な部分を全く見ていない測定で順位が決まってしまう。これは本当に競技会なのか。不思議に思二 | 1 |
| ありません。 | 1 |
| ・図面に対する基準の見分け方。未公開だった場合の考え方等。 ・まずは図読をやらせる。 | 1 |
| 諦めることなく、前向きにやること。 | 1 |
| 1年間の訓練の集大成です。選手の培った技能を選手自身の言葉で対話し、日々のコミュニケーションを図りました。 | 1 |